

神於山保全活用推進協議会規約

（名称）

第1条 この会は、神於山保全活用推進協議会（以下「協議会」という）と称する。

（目的）

第2条 協議会は、神於山及びその周辺の豊かな自然環境を保全するとともに、森の産物を資源として活用し、豊かな里山として蘇らせるとともに地域の活性化を図ることを目的とする。

（事業）

第3条 協議会は、次の各号に掲げる事項に関する事業（以下「事業」という）を行う。

- （1） 神於山の保全と活用を行うための方策に関すること。
- （2） 神於山のゴミ対策に関すること。
- （3） 神於山の防火対策に関すること。
- （4） 前条の目的を達成するために必要な事項。

（構成）

第4条 協議会は、別表1の会員をもって構成する。

（常務会員）

第5条 別表1の会員のうち、日常的または定期的な活動を行う会員及び希望する会員を常務会員とする。

- 2 前項のほか、別表2の地区市民協議会の中から輪番制により1者を2年間の常務会員とする。
- 3 常務会員は、事業の推進を先導する。
- 4 常務会員は、第11条に規定する総会及び第13条に規定する常務会議において、本人または第15条に規定する代理者の出席により議決権を行使できる。

（通常会員）

第6条 前条に規定する常務会員に該当しない会員を通常会員とする。

- 2 通常会員は、第11条に規定する総会において、本人または第15条に規定する代理者の出席によるほか、委任状の提出により議決権を行使できる。

(役員)

第7条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 1 名

(役員の決定及び任期)

第8条 役員は、第5条第1項に規定する常務会員の中から互選により候補者を選出し、総会の議決により決定する。

- 2 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 役員が当該所属団体の役職を退任した場合は、当該所属団体の後任者が前任者の協議会の役職を残任期間満了まで引き継ぐものとする。ただし、やむを得ない事情があると常務会員の過半数が認めた場合は、前任者が特別役員として残任期間満了まで当該役職を継続することができる。
- 4 役員の任期が満了した場合においても後任者が決定するまでは、引き続きその職務を行なう。

(役員の職務)

第9条 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

(顧問)

第10条 協議会は顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が指名した者とし、再任は妨げない。
- 3 顧問は、事業運営が円滑に行われるために助力する。

(総会)

第11条 総会は、次条に定める事項等を協議または議決する。

- 2 総会は、会長がすべての会員を招集する。
- 3 会長は、総会を代表し、会務を総括する。
- 4 総会は、会員の2分の1以上の出席がなければ開くことが出来ない。ただし、第15条に規定する代理者の出席及び第6条第2項に基づく委任状を提出した通常会員は、出席したものとみなす。
- 5 総会の議決は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長が決する。
- 6 会長が必要と認めたときは、会員以外の者に総会への出席を要請することができる。

(総会の協議事項等)

第 12 条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 協議会規約の改廃（会員の加入及び脱退に伴う別表 1 の改正を含む）
- (2) 役員の決定
- (3) 予算及び決算の承認
- (4) その他、会長が必要とみなす事項

2 総会は、次の事項について報告を受ける。

- (1) 常務会員及び普通会员の区分の変更
- (2) 常務会員の事業報告及び事業計画
- (3) 事業に関する普通会员の意見
- (4) その他、会長が必要とみなす事項

(常務会議)

第 13 条 事業を円滑に進めるために、協議会に常務会議を置く。

- 2 常務会議は、会長が必要に応じてすべての常務会員を招集する。
- 3 会長は、常務会議を代表し、会務を総括する。

(専門部会)

第 14 条 一定の期間内に特定の事項を推進するために、協議会に専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会長は、会員の中から会長が指名する。
- 3 専門部会は、目的を達成したとき解散する。

(代理)

第 15 条 総会、常務会議及び専門部会への出席は、会員が代理者を指名した場合には、その出席を認める。

(会計及び事業年度)

第 16 条 事業に要する経費は、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 前項の経費が生じた場合、会長は必要に応じて予算、決算を総会に報告し承認を受けなければならない。
- 3 協議会の事業年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(事務局)

第 17 条 協議会の事務局は、岸和田市環境農林水産部環境保全課に置く。

(その他)

第 18 条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成 15 年 9 月 16 日より施行する。
- 2 第 11 条第 3 項の規定にかかわらず、初年度は平成 15 年 9 月 16 日から平成 16 年 3 月 31 日とする。

附 則

この規約は、平成 16 年 3 月 25 日より施行する。
この規約は、平成 16 年 7 月 30 日より施行する。
この規約は、平成 19 年 8 月 2 日より施行する。
この規約は、平成 30 年 3 月 30 日より施行する。
この規約は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。
この規約は、令和 3 年 7 月 1 日より施行する。
この規約は、令和 7 年 7 月 1 日より施行する。

別表 1 神於山保全活用推進協議会 会員一覧（第 4 条関係）

NO.	会員名	会員代表者役職名
1	光明地区市民協議会	会長
2	天神山地区市民協議会	会長
3	修斉地区市民協議会	会長
4	山直南地区市民協議会	会長
5	山滝地区市民協議会	会長
6	東葛城地区市民協議会	会長
7	光明連合座中	座長
8	内畑町連合町会	会長
9	福田町会	会長
10	阿間河滝町会	会長
11	土生滝町会	会長
12	北阪町会	会長
13	上白原町会	会長
14	神於町会	会長
15	神於寺	代表
16	岸和田市林業活性化協議会	会長
17	春木川・轟川をよくする市民の会	会長
18	岸和田ロータリークラブ	会長
19	岸和田東ロータリークラブ	会長
20	いずみの農業協同組合	総務部長
21	大阪府森林組合 泉州支店	支店長
22	特定非営利活動法人 神於山保全くらぶ	理事長
23	大阪府漁民の森づくり “魚庭の森づくり” 協議会	会長
24	シャープ社友会チーム神於山	幹事長
25	住友ゴム工業株式会社	泉大津工場長
26	丸紅株式会社	総務部大阪総務課課長補佐
27	彩り	代表
28	環境省 近畿地方環境事務所	自然再生企画官
29	大阪府泉州農と緑の総合事務所 地域政策室	室長
30	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部	生物多様性センター長

NO.	会員名	会員代表者役職名
31	岸和田市	環境農林水産部長 まちづくり推進部長 建設部長 学校教育部長 きしわだ自然資料館長

別表2 地区市民協議会の常務会員輪番（第5条関係）

(1)	東葛城地区市民協議会
(2)	修斉地区市民協議会
(3)	光明地区市民協議会
(4)	山滝地区市民協議会